

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

R5年 9月 13日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県守山市古高町808-33

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
一正蒲鉾株式会社 関西工場  
工場長 三国屋 輝

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項  
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	一正蒲鉾株式会社 本社工場 代表取締役 野崎 正博
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	新潟県東区津島屋7-77

1 事業者の概要

事業所の名称	一正蒲鉾株式会社 関西工場					
事業所の所在地	滋賀県守山市古高町808-33					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	2	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 水産練製品製造業
事業の概要	蒲鉾、竹輪、揚げ蒲鉾製造					
従業員の数	173	人	作業時間	17	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	5	台	熱源設備	9	台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備		台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	R3	年度	報告対象年度	R4	年度
	終了年度	R8	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

一正蒲鉾全社員が、省エネルギーに繋がる行動意識を強く持ち、条例に沿った低炭素社会づくりに取り組むことにより、地域社会に貢献出来る体制づくりを進めてまいります。

1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境の保全と汚染の予防に取り組めます。

① 使用時により、CO<sub>2</sub>排出を削減できる製品の提供に努めます。

② 省エネルギー・省資源に取り組めます。

③ 廃棄物の削減と再資源化に取り組めます。

④ グリーン購入を積極的に推進します。

⑤ 地域の皆様とともに環境活動に取り組めます。

2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。

3. 環境保全に関連する法規制を遵守します。

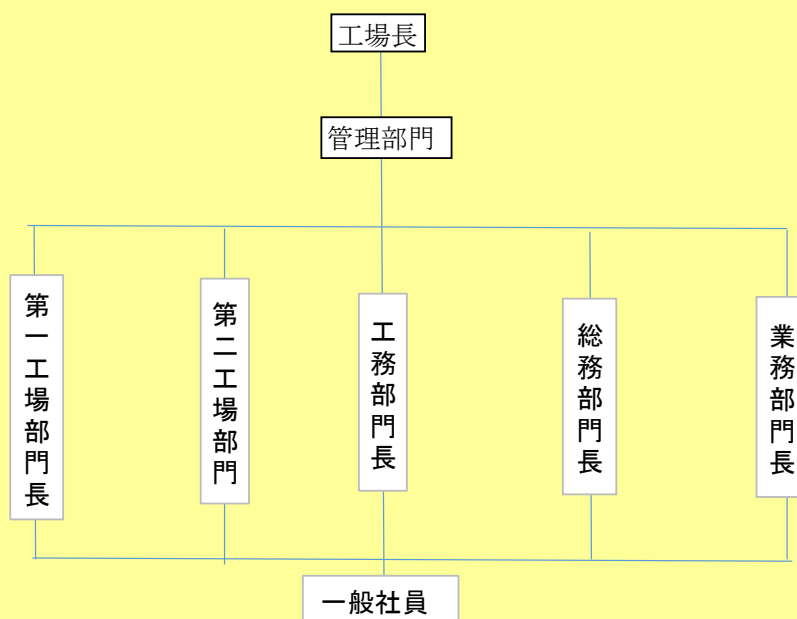
4. この方針を具現化し維持するとともに、全従業員に周知徹底します。

5. この方針を広く公開し、適切な情報提供に努めます。

2 取組の推進体制

○ 責任者関西工場長

○ 推進体制(組織図)



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

○LED照明器具交換。H29年度～R2年度まで 約450台(R2年度236台交換・年間削減

53,880kw/h削減)

○照明設備の一部を自動検知化。2階厚生棟

○ボイラー室ハッチャー・バルブ関係部分に保温剤を着用し放熱ロスを無くす。

○ボイラー用温水外に蒸気排熱を回収再利用する。

○LPGガスから13A都市ガスに変換。

○スクューコンプレッサ-3台を高効率PMモーター仕様に入替。

○加熱工程生産ラインにおいて、間仕切り換気により差別化し、室内への放熱を抑える。

○冷却設備最新式による電力削減。フロン22対策関連にて冷却装置、冷蔵庫を順次最新式に展開。

○予冷機を設けることにより、電力負荷の緩和を図る。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場内の照明器具120台について、省エネ効果の高いLED照明設備に順次更新する。【年間26t-CO <sub>2</sub> を削減】	R3年～R8年	工場全体約90%実施
2	運用改善	冷却・空調熱交換器の定期洗浄により、電力量増加の防止対策。	R3年～R8年	年数回実施
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>設備対策・導入面・・・毎年、年間30台を目標に予算設定をした上で、老朽化している器具を優先的に交換を進める。目標予算枠を設けた上で、老朽化している器具を優先的に交換を進める。新規設備導入及び既存設備入替えの際は高効率省エネタイプを基準に検討する。</p> <p>運用対策面・・・冷却機、空調機等の電流値等を参考に機器の熱交換器やフィルター関係の洗浄を行い効率低下を防ぐ。</p>	<p>照明器具のLED化は工場全体の約90%は実施出来ました。電力監視システムを一部設置しており今後も追加設置の上、エネルギーロスの管理を実施予定です。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		( R3 )年度	( R4 )年度	( )年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,188	2,052	2055			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,377	3,288	2,980	0	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	3,377	3,288	2980			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						